

機械器具 58 電動式骨手術器械 JMDNコード 70959010

販売名 **オサダサクセスー40M2**

管理医療機器

形式 OS-40M2 承認番号 22000BZX00752000 EMC 適合

製造販売元／製造元／ **長田電機工業株式会社**
 〒459-8001 愛知県名古屋市長区大高町字中道 11
 TEL 052-621-3126(代) FAX 052-621-8310

販売元／ **長田電機工業株式会社**
 〒141-8517 東京都品川区西五反田 5-17-5
 TEL 03-3492-2874 FAX 03-3492-3021

取扱説明書

機器をお使いになる方へ

このたびは、**オサダサクセスー40M2**をお買い上げいただき、ありがとうございます。

安全で能率的にお使いいただくために、**ご使用前に**必ず本書及び添付書類を十分にお読みいただき、取扱注意事項を厳守してご使用下さい。

お読みになった後は、機器の近くの見やすい場所に、大切に保管して下さい。

ご不明な点は、**ご使用前に**、お買い上げの販売店または長田電機工業㈱にお問合せ下さい。

危険防止のために

「医用電気機器の使用上（安全及び危険防止）注意事項」および、以下の「取扱注意事項」をご精読の上、必ず細心の注意を払い、機器の性能・信頼性・安全性を良い状態に維持して下さい。

本書中の注意事項及び危険防止事項については、下記の記号により表示しております。

 警告	取り扱いを誤った場合、重傷を負う恐れがあります。(失明を含む)
 注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う恐れがあり、機械の損傷・機能等の故障につながる恐れがあります。

使用・保守の管理責任について

本器の使用・保守点検の管理責任は、使用者（病院・診療所）側にあります。

改造禁止について

機器を改造しないで下さい。

昭和47年6月1日薬発第495号厚生省薬務局長通知『医用電気機器の使用上（安全及び危険防止）の注意事項』の7項により、下記の通り、使用者による改造は禁じられております。

「7. 機器は改造しないこと。」

また、医薬品医療機器法によって製造販売業者側に対して次のような規制があります。即ち、医療機器は品目ごとに製造の承認が必要で、医療機器の「機能の変更」を行う場合は「一部変更承認申請」が義務付けられており、無断改造は禁じられております。

免責事項について

1. 当社、または当社の指定した業者以外による据付、移設、保守および修理に基づく故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
2. 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社の製品が受けた故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
3. 当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による保守、修理などに基づく故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
4. この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった結果に基づく故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
5. この取扱説明書に記載されている電源、設置環境など、機器の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。
6. 火災、地震、水害、落雷などの天災による故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承下さい。

修理依頼について

修理依頼は、お買い上げの販売店または長田電機工業㈱にご連絡下さい。

その際には、機器名・製造番号・不具合状態をお知らせ下さい。

医用電気機器の使用上（安全及び危険防止）の注意事項

昭和47年6月1日 薬発 第495号
各都道府県知事あて 厚生省薬務局長通知に基づく

1. 熟練したもの以外は機器を使用しないこと。
2. 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
 - (1) 水のかからない場所に設置すること。
 - (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
 - (3) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
 - (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
 - (5) 電源の周波数と電圧及び許容電流値（又は消費電力）に注意すること。
 - (6) 電池電源の状態（放電状態、極性など）を確認すること。
 - (7) アースを正しく接続すること。
3. 機器を使用する前には次の事項に注意すること。
 - (1) スイッチの接触状況、極性、ダイヤル設定、メーター類などの点検を行い、機器が正確に作動することを確認すること。
 - (2) アースが完全に接続されていることを確認すること。
 - (3) 全てのコードの接続が正確でかつ完全であることを確認する。
 - (4) 機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおかすおそれがあるので、十分注意すること。
 - (5) 患者に直接接続する外部回路を再点検すること。
 - (6) 電池電源を確認すること。
4. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - (1) 診断、治療に必要な時間・量をこえないように注意すること。
 - (2) 機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
 - (3) 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
 - (4) 機器に患者がふれることのないように注意すること。
5. 機器の使用後は次の事項に注意すること。
 - (1) 定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。
 - (2) コード類の取り外しに際してはコードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
 - (3) 保管場所については次の事項に注意すること。
 - i. 水のかからない場所に保管すること。
 - ii. 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
 - iii. 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
 - iv. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
 - (4) 付属品、コード、導子などは清浄にしたのち、整理してまとめておくこと。
 - (5) 機器は次回の使用に支障のないように必ず清浄にしておくこと。
6. 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行い、修理は専門家にまかせること。
7. 機器は改造しないこと。
8. 保守点検
 - (1) 機器及び部品は必ず定期点検を行なうこと。
 - (2) しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

取扱注意事項

●使用上の注意事項

 <p>警告</p>	<p>1) 骨手術(歯の切削を含む)以外には使用しないで下さい。</p> <p>2) 使用されるバーは、バーメーカーが指定している回転速度以下でご使用下さい。</p> <p>3) 使用されるバーは下記サイズのバーをご使用下さい。 シャンク径 $\phi 2.35_{-0.016}^0$, シャンク長 32mm 以上, 刃物全長 40-55mm シャンク径の細いバーは、抜けやすく、回転中にとび出し、ケガをする恐れがあります。</p> <p>4) バーは、曲がった物、錆びた物は使用しないで下さい。また、バーは完全に奥まで挿入して下さい。途中で止めて使用することは危険です。回転中に破損し、ケガをする恐れがあります。</p> <p>5) ロングバーを用いるときは、必ずバーに合うノーズコーンをご使用下さい。回転中にバーが破折して、ケガをする恐れがあります。また、術者は安全メガネの着用をおすすめします。</p> <p>ノーズコーンとバーの適応 ノーズコーンS(SH28に付属) : バー全長 40-55mm、シャンク長 32mm 以上 ノーズコーンM(アクセサリ) : バー全長 55-65mm、シャンク長 49mm 以上 ノーズコーンL(アクセサリ) : バー全長 65-75mm、シャンク長 58mm 以上</p> <p>6) ノーズコーンの発熱が高いと感じた場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼して下さい。破損してケガをする恐れがあります。</p> <p>7) アクセサリのワイヤードライバー、ソーハンドピース類をご使用になる場合は、必ず、30,000min⁻¹以下でご使用ください。</p> <p>8) 電動サージエリモーター[®]及びフットコントローラーの取り付け、取外しを行う場合は、必ずメインスイッチをOFFにして下さい。電動サージエリモーターが急に回転し、ケガにつながる可能性があります。</p> <p>9) ヒューズ交換は、必ず電源コードをコンセントから外した後に行ってください。感電の恐れがあります。</p> <p>10) 電源コードはアース付 3P タイプです。必ず保護接地付コンセント(アース付 3P)に接続してご使用下さい。</p>
---	---

 <p>注意</p>	<p>1) 等速ストレートハンドピース回転中には、レバーを動かさないで下さい。故障の原因になります。</p> <p>2) 等速ストレートハンドピースが止まるほどの負荷を加える事はしないで下さい。電動サージエリモーターが焼損します。</p> <p>3) 電動サージエリモーターにオイルを注油しないで下さい。故障の原因となります。</p> <p>4) エアガンなどで、制御本体に、強くエアーを吹きつけることはしないで下さい。ゴミが内部に入り、故障の原因となります。</p> <p>5) 制御本体表面は、乾拭きするか、水または合成洗剤などを薄めた溶液で湿らせた柔らかい布を固く絞って拭いて下さい。エタノール、ベンゼン等の溶剤では拭かないで下さい。パネルが割れたり、印刷の色がとれたりすることがあります。</p> <p>6) フットコントローラーは IEC60529 に適合していません。濡れた床面には置かないで下さい。又、水をかけないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。従って、ビニール袋で保護するなどの処理をしてお使い下さい。</p> <p>7) 等速ストレートハンドピース(SH28)には、必ずノーズコーンを付けてご使用下さい。血液が等速ストレートハンドピース内部に入り、故障の原因になります。</p> <p>8) 血液・薬液等が等速ストレートハンドピース内に入ったと思われる場合は可能な限り早い時点での注油(洗浄)を行ってください。時間が経つと内部で血液が凝固し、故障の原因になります。</p> <p>9) 滅菌(オートクレーブ、EOG)する場合は、直前に、注油・洗浄をして下さい。</p> <p>10) インstrument類は、オートクレーブ滅菌(熱、圧力、水蒸気など)により、部材の錆、腐食、変質、変色が起こり、性能、機能の劣化が徐々に進みます。</p>
---	---

●点検および保守上の注意事項

点検、保守および消耗品交換の際は、以下のことに注意して下さい。

 <p>警告</p>	<p>1) メインスイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてから作業して下さい。漏電および感電等の危険があります。 ※作業終了後の確認時およびその他必要な時のみ、通電をして下さい。</p>
 <p>注意</p>	<p>1) 安全装置および絶縁部品を外したり、改修したりしないで下さい。</p> <p>2) 発熱部分については、十分に冷めたことを確認してから作業を行ってください。</p> <p>3) 配線コードおよび基板部へは水がかからないようにして下さい。</p> <p>4) 保守および点検は定期的に行ってください。</p>

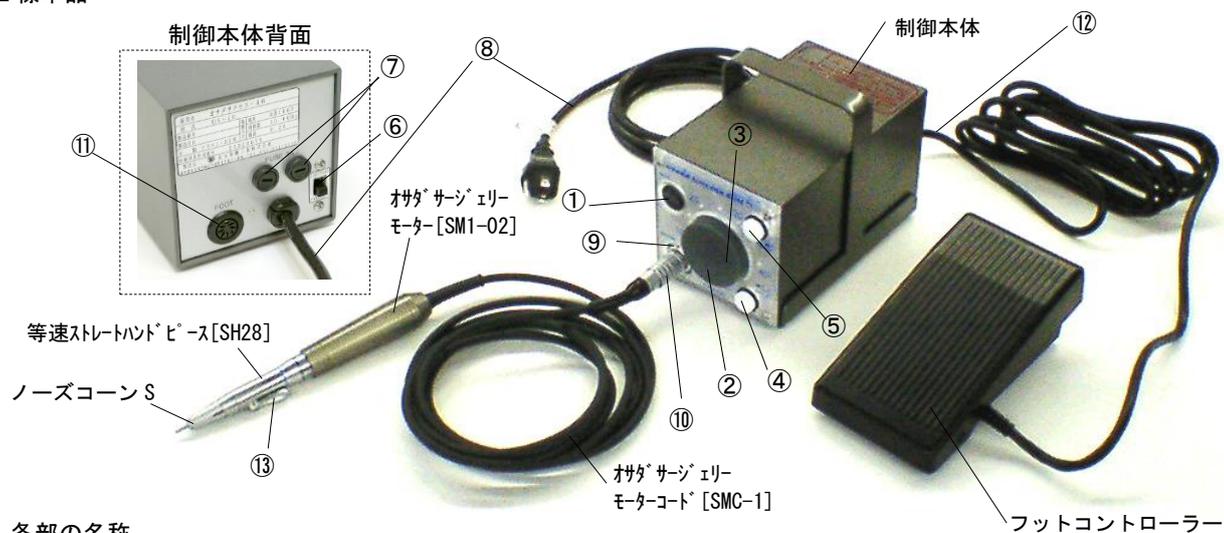
※故障した時は勝手にいじらず適切な表示を行い、専門家に依頼して下さい。

1 内容の確認

1.1 添付書類

- ・取扱説明書(本書) ・添付文書 ・保証書 ・据付確認書

1.2 標準品



各部の名称

①メインスイッチ	②回転速度設定ボリューム	③表示ランプ	④正・逆回転切換スイッチ
⑤マニュアルスイッチ	⑥パリアブル・コンスタントスイッチ	⑦ヒューズホルダー	⑧電源コード
⑨モーターコードコネクター	⑩モーターコードプラグ	⑪フットコントローラーコネクター	⑫フットコントローラープラグ
⑬レバー			

1.3 付属品



ハンドピーススプレー(HK)

ヒューズ3A×2ケ

2 各部の取り付け及び設置

2.1 各部の取り付け

2.1.1 オサダサージェリモーターコードの取り付け



オサダサージェリモーターコードを制御本体に接続します。

⑩モーターコードプラグの赤色マークを上にして、制御本体前面の⑨モーターコードコネクターの赤色マークに合わせて差し込んで下さい。

※オサダサージェリースアクセスのオサダワイヤードライバーはつけられません。

2.1.2 フットコントローラーコードの取り付け



フットコントローラーを制御本体に接続します。

⑫フットコントローラープラグの TOP と書かれている面を上にして、制御本体背面の⑪フットコントローラーコネクターのミゾに合わせて差し込んで下さい。

2.1.3 電源コードの取り付け

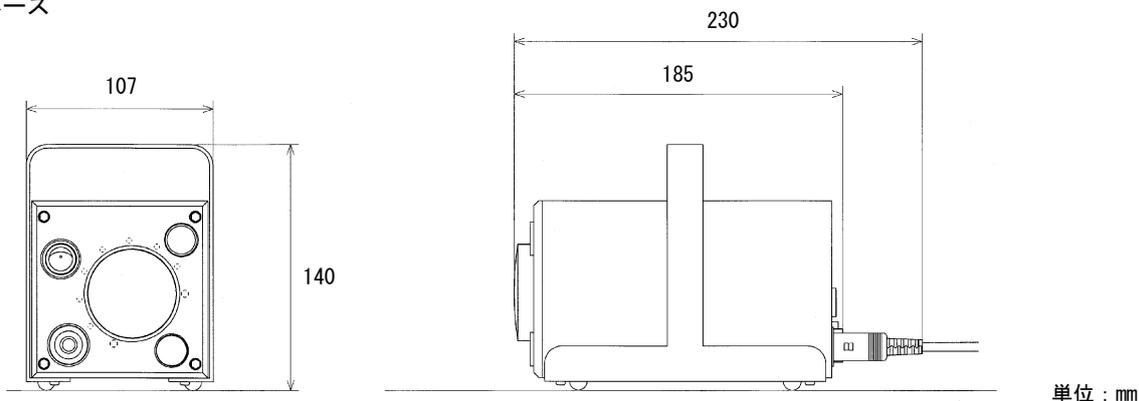


制御本体から出ている電源コードのプラグを、交流 100 V の保護接地付コンセント（アース付 3P）に差し込んで下さい。

2.2 設置条件

- 1) 傾斜・振動・衝撃のない安定な場所に設置して下さい。
- 2) 水のかからない場所に設置して下さい。
- 3) 化学薬品の保管場所や塩分、イオウ分等を含んだガスの発生する場所には設置しないで下さい。

2.3 設置スペース



3 操作方法

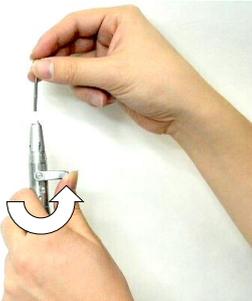
3.1 等速ストレートハンドピースの着脱



納品時は枙がサージェリモーターに取り付けられています。等速ストレートハンドピースと枙がサージェリモーターを互いに引張ると取り外すことができます。

取り付けるときは、等速ストレートハンドピースを枙がサージェリモーターのジャンクション本体に最後まで挿入し、等速ストレートハンドピースを図の様に回して、等速ストレートハンドピースと枙がサージェリモーターに互いに回らないようになったことを確認して取付けてください。

3.2 バーの着脱



等速ストレートハンドピースの⑬レバーを反時計方向に90°押し上げると、内部のチャックが開き、バーが外せます。

使用するバーを、チャックの奥の止まる場所まで挿入して下さい。途中で止めての使用は、使用中刃物がずれ危険です。

⑬レバーを元に戻すと、バーが固定されます。

※バーを軽く引っ張り、きちんとチャックされているかどうか確認して下さい。その際、バーの刃部でケガをしないようご注意ください。

3.3 スイッチの操作



制御本体前面の①メインスイッチをON (|) にして下さい。

③表示ランプが青色に点灯します。

次に④正・逆回転切換スイッチにより枙がサージェリモーターの回転方向を選んで下さい。

(⌚)：正回転、(⌚)：逆回転、逆回転に設定されている時は、③表示ランプが点滅します。)

使用するバーのメーカーが指定している許容回転速度を確認し、②回転速度設定ボリュームを回して、回転速度を設定して下さい。

⑤マニュアルスイッチを押すと、設定した回転速度で枙がサージェリモーターが回転します。(⌚(I))

枙がサージェリモーター回転中に②回転速度設定ボリュームで回転速度を変更することも可能です。

⑤マニュアルスイッチをもう一度押すと、枙がサージェリモーターは停止します。(⌚(O))



注意
意図しない回転による事故を防ぐために、マニュアルスイッチやフットコントローラーがONになっていることを知らずにメインスイッチを入れてしまった場合や、メインスイッチを入れた直後(約1秒以内)にマニュアルスイッチやフットコントローラーをONにした場合でも、枙がサージェリモーターは回転しないようになっています。また、表示ランプが3回ずつ点滅を繰り返し、異常をお知らせします。その場合は、マニュアルスイッチとフットコントローラーの両方がOFFになっていることを確認した後、改めて①メインスイッチをONして下さい。

3.4 フットコントローラーの操作

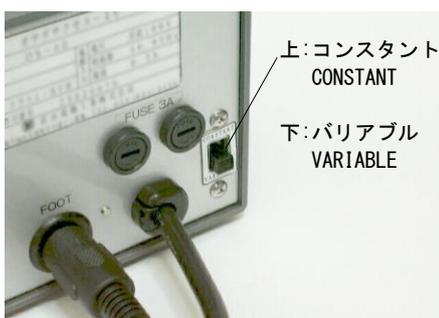
フットコントローラーをご使用の場合は、⑤マニュアルスイッチをOFF (⌚(O)) にして下さい。

フットコントローラーでは、バリエブル・コンスタントの2通りの使用方法が選択できます。次の項「3.5 バリエブル・コンスタントの設定について」をお読み下さい。

3.5 バリエブル・コンスタントの設定について

制御本体背面にある⑥バリエブル・コンスタントスイッチを切換えることで、フットコントローラーによる操作方法を次の2通りの方法から選択設定できます。

※出荷時はバリエブルが選択されています。



バリエブル (VARIABLE) を選択した場合は、フットコントローラーを踏み込むとモーターが回転し、踏み込む量により、枙がサージェリモーターの回転速度を1000min⁻¹から、設定した回転速度の範囲で調整することができます。

フットコントローラーから足を離すと、枙がサージェリモーターは停止します。

※回転速度を微調整しながらご使用になりたい場合に適しています。

コンスタント (CONSTANT) を選択した場合は、フットコントローラーを一度踏むと、足を離しても、枙がサージェリモーターは設定した回転速度で回転し続けます。

もう一度、フットコントローラーを踏むと、枙がサージェリモーターは停止します。

※回転速度を変えずに一定速度でご使用になりたい場合に適しています。

3.6 使用後の処置

- 1) 作業終了後は、必ず、制御本体のメインスイッチをOFF(○)にしてください。
- 2) 等速ストレートハンドピースは、下記の手順に従って、毎回必ず注油（洗浄）をして下さい。

等速ストレートハンドピース[SH28]とノズルコーンS
パーおよびノズルコーンSを外す。

※ノズルコーンSは等速ストレートハンドピース[SH28]を
持って引っ張れば外れます。



3) 超音波洗浄

ノズルコーンS、等速ストレートハンドピース[SH28]をそれぞれ
超音波洗浄器に10分程かけます。

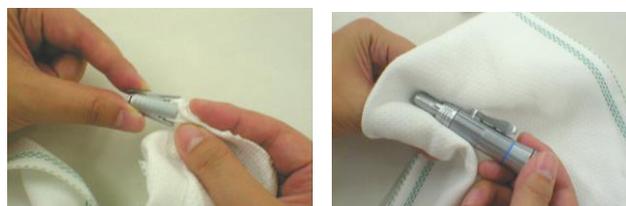
注) 超音波洗浄機用洗剤等をご使用になりますと、
より汚れが落ちます。



4) 拭く

ノズルコーンSおよび等速ストレートハンドピース[SH28]の
水気を乾いた布等で拭き取ります。

超音波洗浄器



5) 保守

ノズルコーンSを等速ストレートハンドピース[SH28]に取り付け
ハンドピーススプレーの缶を必ずよく振ってから、
1秒間を2-3回スプレーする。

(パーは定位置に戻してからスプレーして下さい。)

注) 超音波洗浄後は、必ずハンドピーススプレーをして下さい。
故障の原因になります。



- 1) 血液・薬液等が等速ストレートハンドピース内に入ったと思われる場合は可能な限り早い時点での洗浄・注油を行って下さい。
- 2) 滅菌（オートクレーブ、EOG）する場合は、直前に注油をして下さい。
- 3) 血液・薬液等が等速ストレートハンドピース内に残ったまま滅菌を行うと、等速ストレートハンドピース内部で血液が固まり故障の原因となります。

4 安全装置及び対処方法

名称	機能・現象	対処方法
ヒューズ	過電流発生によって生じる機器の過熱防止、併用されている電気機器への障害防止、内部回路の保護のために、制御本体の電源1次回路にヒューズ(125V、3.0A)が内蔵されています。過電流時にヒューズが溶断して、メインスイッチが入らなくなります。	6.1の消耗品交換方法に従って、付属品の予備ヒューズと交換して下さい。
電子ブレーカー	オサダサージエリモーター及び内部回路を過電流・過熱より保護するために、オサダサージエリモーターに過負荷が加わると、制御本体に内蔵された電子ブレーカーにより、自動的にオサダサージエリモーターが停止します。また、表示ランプが3回ずつ点滅を繰り返し、異常をお知らせします。	マニュアルスイッチまたはフットコントローラーを、一旦OFFにした後、改めて、ONして下さい。
急な回転の防止	意図しない回転による事故を防ぐために、マニュアルスイッチやフットコントローラーがONになっていることを知らずにメインスイッチを入れた場合や、メインスイッチを入れた直後(約1秒以内)にマニュアルスイッチやフットコントローラーをONにしたでも、オサダサージエリモーターは回転しないようになっています。また、表示ランプが3回ずつ点滅を繰り返し、異常をお知らせします。	マニュアルスイッチとフットコントローラーの両方がOFFになっていることを確認した後、改めてONして下さい。
オートオフ	スイッチ及びフットコントローラーの切り忘れによる事故を防ぐ為に、オサダサージエリモーター回転中に、制御本体およびフットコントローラーを操作しなかった場合は、約60分後に自動的にモーターが停止します。また、表示ランプが3回ずつ点滅を繰り返し、異常をお知らせします。	マニュアルスイッチとフットコントローラーの両方がOFFになっていることを確認した後、改めてONして下さい。

5 清掃・消毒・滅菌

品名	清掃	消毒	滅菌
等速ストレートハンドピース [SH28]	「3.6 使用後の処置」を参照して下さい。	消毒用エタノールを染み込ませたガーゼなどで清拭して下さい。	オートクレーブ滅菌 135℃3分以上、132℃5分以上、121℃20分以上 (135℃を超える乾燥工程は不可) EOG滅菌(60℃以下)
ノズルユニット			
オサダサージエリモーター [SM1-02] オサダサージエリモーターコード [SMC-1]			
制御本体	乾拭きするか、水または合成洗剤などを薄めた溶液で湿らせたガーゼなどの柔らかい布を固く絞って汚れを拭き取して下さい。	不可	不可
フットコントローラー	水で湿らせたガーゼなどの柔らかい布を固く絞って汚れを拭き取して下さい。	消毒用エタノールを染み込ませたガーゼなどで清拭して下さい。	不可

オートクレーブ滅菌について

1) オートクレーブ滅菌による性能劣化

- ・インスツルメント類は、オートクレーブ滅菌(熱、圧力、水蒸気など)により、部材の錆、腐食、変質、変色が起こり、性能、機能の劣化が徐々に進みます。

2) オートクレーブ滅菌による急激な劣化防止

- ・指定された温度(缶体内温度)以上になる、またはなる可能性のあるオートクレーブ機器は、使用しないでください。
- ・オートクレーブ滅菌は、滅菌パックに入れて行ってください。
器具に発生した錆の伝播も防げます。
- ・オサダサージエリモーター(SM1-02)とオサダサージエリモーターコード(SMC-1)は外さないで一体にした状態でオートクレーブ滅菌にかけて下さい。
- ・オートクレーブ滅菌の事前洗浄精度を上げて下さい。
薬液、血液が残っていたりすると、滅菌過程でそれらが影響(錆、変色、かたまる等)し、劣化や性能が出ない原因になります。

6 消耗品・スペアパーツ

6.1 消耗品

●消耗品リスト

品名 (コードNo.)	数量	交換・取替者			交換方法 記載	交換時期目安 (症状の一例)	交換 時間 目安
		使用者	長田電機工業(株) 及び販売店	オサダ 工場			
制御 本体 ヒューズ3A (05516)	1個入	○	○	—	取扱説明書 6.2 消耗品交換方法	ヒューズが切れる	3分
フット コントローラー フット コントローラー (50265)	1個	○	○	—	取扱説明書 2.1.2 フットコントローラーコード の取り付け	踏み込んだときの 反応が遅くなった	1分
モーター リング (50212)	1セット (2個入)	○	○	—	取扱説明書 6.2 消耗品交換方法	傷ついた	1分
ハンド ピース ノーズコーンS (41833)	1個	○	○	—	取扱説明書 6.2 消耗品交換方法	先端のベアリングが 回転しない	1分
付属品 ハンドピーススプレー (HK) (71911)	1個	○	○	—	—	オイルが出ない	—

6.2 消耗品交換方法

●ヒューズの交換

電源コードが正しく接続されているにもかかわらず、メインスイッチをON(|)にしても制御本体の回転速度設定ボリュームが点灯せず、オサダサージエリモーターが回転しない場合は、下記の方法でヒューズを点検・交換して下さい。

※ヒューズのガラス部分は、素手で触らないようにして下さい。



電源コードをコンセントから外します。感電防止のため必ず行って下さい。

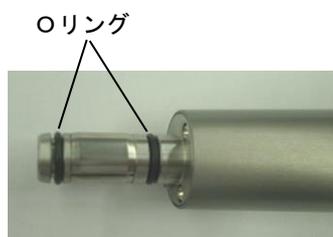
⑦ヒューズホルダーをマイナスドライバー等で押しながら、矢印方向に90°回して取り外します。

ヒューズが切れているかどうかを確認します。

ヒューズが切れていれば、付属のヒューズ(125V, 3.0A)と交換して下さい。
(同時に2本とも交換して下さい)

●オサダサージエリモーター(SM1-02)のリング交換

2箇所のリングを指で取外し、新しいリングをとりつけて交換して下さい



●ノーズコーンSの交換

ノーズコーンSの先端のベアリングが回転しないとハンドピース内部に血液等が入り故障の原因となります。下記の方法でノーズコーンSを点検・交換して下さい。

等速ストレートハンドピースを持ってノーズコーンSを引張って取外し、新しいノーズコーンSを取付けてください



7 トラブルシューティング ～「故障かな」と思ったら～

下記の点を確認されても、問題が解決しない場合は、販売店、または長田電機工業㈱へ修理依頼をして下さい。

	症状	確認事項	関連項目
本 制 体 御	メインスイッチが入らない。 (表示ランプが点灯しない。)	電源コードがコンセントに正しく差し込まれていますか。	2.1 各部の取り付け
		ヒューズが切れていませんか。	6.1 消耗品
モ ー タ ー ・ ハ ン ド ピ ー ス	回転しない。	メインスイッチが入っていますか。	3.3 スwitchの操作
		サージ・エリモーターコードが正しく接続されていますか。	2.1 各部の取り付け
		フットコントローラーが正しく接続されていますか。	2.1 各部の取り付け
		表示ランプが異常を知らせていませんか。	4 安全装置及び対処方法
	異常音がする、振動が大きい、 バーの振れが大きい。	曲がったり、傷ついたりしているバーを使用していませんか。	取扱注意事項
		バーに合ったノーズコーンを使用していますか。	取扱注意事項
	使用中に熱をもつ。	高い切削負荷で長時間使用していませんか。 使用時間の目安： 20秒 ON、20秒 OFF の繰り返しを10回で中断20分	取扱注意事項

8 保証について

8.1 保証書

1. 保証書記載内容で、無償修理を行うことを約束するものです。
2. 国内で使用される場合のみ有効です。
3. 再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。
4. 無償修理を受ける場合、出張修理に際して保証書をご提示下さい。

8.2 無償修理の除外規定

保障期間内でも次のような場合は、有償修理とさせていただきます。

1. 当社または当社の指定した業社以外による据付、移設、および修理等に基づく故障・破損。
2. 当社が納入した商品以外の他社商品(部分的な組み込み等も含む)が原因で、当社の商品が受けた故障・損傷。
3. 当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による修理等に基づく故障・損傷。
4. 取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかったことによる故障・損傷。
5. 取扱説明書に記載されている電源、設備環境等、機器の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
6. 火災、地震、水害、落雷等の天災による故障・損傷。
7. 消耗品の交換および補充

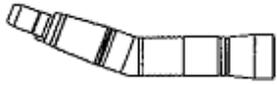
9 仕様及び使用条件

項目		仕様(機器・性能)		備考
販売名		オサダ サクセス-40M2		
形式		OS-40M2		
承認番号		22000BZX00752000		
機能・性能	1. 制御本体	外観	幅・奥行・高さ 107×185×140 mm	・高さはゴム脚を含む。
		機能	1. 回転速度設定 1,000±200—30,000±1,000 min ⁻¹ (リミット解除により 40,000±2,000 min ⁻¹ 可) 2. 回転方向切換え 正回転・逆回転の切換え 3. マニュアル回転 マニュアルスイッチによるモーターの始動・停止 4. ハリアブル・コンスタント設定 フットコントローラーによる回転速度調整・方法(定速・可変速)の設定 5. 警告表示 逆回転設定時に表示ランプ点滅 異常時に表示ランプ 3回ずつ点滅	
		質量	3.3 kg	
	2. 等速ストレート ハンドピース SH28	外観	径・長さ φ17×75 mm	・径はハブを除く。 ・オートクレーブ滅菌可 (135℃を超える乾燥工程は不可) ・EOG滅菌可
		最高回転速度	40,000 min ⁻¹	
		使用ハブ	シャフト径 φ2.35 ⁰ _{-0.016}	
		ハブ交換	ハブ式	
	3. ノーズコンス	外観	径・長さ φ12×20 mm	
		重量	5 g	
	4. オサダ サージエリ モーター SM1-02	外観	径・長さ φ25×72.3 mm	・長さはジョイント部を除く。 ・オートクレーブ滅菌可 (135℃を超える乾燥工程は不可) ・EOG滅菌可
		回転速度	1,000±200—40,000±2,000 min ⁻¹	
		停止トルク	4.0 N・cm	
	5. オサダ サージエリ モーターコード SMC-1	外観	長さ 3000 mm	・オートクレーブ滅菌可 (135℃を超える乾燥工程は不可) ・EOG滅菌可
		質量	200 g	
6. フットコントローラー	外観	幅・奥行・高さ 90×165×60 mm コード長さ 3000 mm	IEC60529 には適合していません。	
	機能	回転速度の調整		
	質量	685 g		
安全性	電撃に対する保護形式による分類		クラス I 機器	
	電撃に対する保護程度による分類		B 形装着部	
	作動(運転)モード		間欠負荷の連続作動運転	
使用条件	電源	電源電圧	交流 100 V	
		電源周波数	50/60 Hz	
		電源入力	0.3 A	最大 3.0 A
	環境	周囲温度	10 — 40 °C	
		相対湿度	30 — 75 %	
		気圧	700 — 1060 hPa	
使用時間の目安		20 秒 ON、20 秒 OFF の繰り返しを 10 回で中断 20 分		
使用者		医師、歯科医師		

※40,000min⁻¹仕様でご使用になる場合は、お手数ですが、お買い上げの販売店、または長田電機工業(株)までご連絡下さい。

●アクセサリ一覧

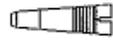
①



②



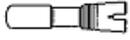
③



④



⑤



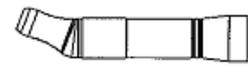
⑥



⑦



⑧



⑨



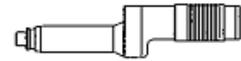
⑩



⑪



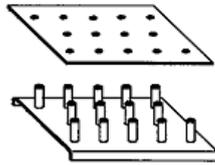
⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



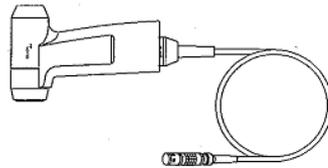
⑰



⑱



⑲



⑳



㉑



㉒



㉓



㉔



	番号	名称	数量	コード No.	備考
モーター用	1	2倍速アングルハンドピース [SH31]	1	71663	深部の切削、必ずノーズコーンを付けてご使用ください
	2	ノーズコーンS	1	41833	刃物全長 40-55 シャンク全長 32 以上
	3	ノーズコーンM	1	41840	刃物全長 55-65 シャンク全長 49 以上
	4	ノーズコーンL	1	41845	刃物全長 65-75 シャンク全長 58 以上
	5	ノーズコーンA [NC-A]	1	50022	
	6	等速コントラヘッド [CH07]	1	41767	骨の形成・仕上げ
	7	等速コントラシャンク [CS132]	1	38849	
	8	ボーン用等速ストレートハンドピース [SH22]	1	89355	ドリルを付けて骨への穴あけ
	9	ソレシフ ロケットハンドピース [SRH01]	1	75982	骨切削 ストローク 1.7mm
	10	ソレシフ ロケットハンドピース2 [SRH02]	1	50063	骨切削 ストローク 3.0mm
	11	ソーサーデジタルハンドピース [SSH01]	1	75417	骨切削
	12	ソーオンレットハンドピース [SOH01]	1	75686	骨切削
	13	ソーオンレット刃物アダプター [SOH-AD]	1	50021	ソーオンレットハンドピースに付けて深部の切削
	14	HL スタンド	1	70657	スタンドハット 10 枚付
	15	ソーオンレット刃物アダプター S [SOH-ADS]	1	46521	オンレットを付けて深部の切削
	16	ソーオンレット刃物アダプター A [SOH-ADA]	1	46522	オンレットを付けて深部の切削
	17	ソーオンレット注水ホルダー-ロング	1	46524	
	18	ソレシフ マイクロソーアダプター [SR-MSAD]	1	46525	マイクロソーを使用して切削
ワイヤードライバー用	19	オサダ ワイヤードライバー-5 型セット	1	50285	オサダ ワイヤードライバー [WD-5] オサダ サージエリ-モーターコート [SMC-1] 下記 21-25 のハンドピースをつけて、使用します。
	20	ジャコフ スチャックハンドピースφ 5 [JCH-1]	1	08879	チャックφ 5mm ドリルを付けて骨への穴あけ
	21	ジャコフ スチャックハンドピースφ 3 [JCH-2]	1	41520	チャックφ 3mm ドリルを付けて骨への穴あけ
	22	ワイヤ-チャックハンドピース [WCH-1]	1	08848	チャックφ 0.7-1.8mm 細い K ワイヤ-を付けて骨の固定
	23	ピンチャックハンドピース [PCH-1]	1	08893	チャックφ 1.98-3.18mm 太い K ワイヤ-を付けて骨の固定
	24	AO チャックハンドピース [ACH-1]	1	08887	A0ドリル専用 AOドリルを付けて骨への穴あけ

●保守点検チェックリスト

◎毎日 ○毎週 △1ヶ月/6ヶ月 ×随時

点検項目	点検内容	始業前	点検月日				
			/	/	/	/	/
等速ストレート ハンドピース	バーの保持力は弱くなっていませんか？	◎					
	回転中に異常音・振動はありませんか？	◎					
	バーの芯振れはありませんか？	◎					
サージレモーター	回転中に異常音・振動はありませんか？	◎					
	フットコントローラーで、モーターの始動・停止、速度の可変ができますか？	◎					
	回転速度設定ボリュームでモーターの速度の可変ができますか？	◎					

